



令和2年度 第2回 大館市木材利用推進会議 部会

大館市木材利用促進計画（案）に関する 意見聴取アンケート結果

※1月22日時点の集計結果

アンケートについて

<対象者>

林業・木材産業関係者（森林整備・苗木生産・木材加工・木材流通・木質バイオマス）
 建築事業関係者（建築・設計）
 木育関係者（一般市民・保育士）

<送付数・回答数>

送付数 175名

回答数 101名（回答率58%）※令和3年1月22日時点

<調査期間>

令和3年1月7日～22日

<アンケート内容>

1、木材の利用の促進に関する市の施策に対する“満足度”と“重要度”

※満足度...これまでの市の取り組みにどの程度満足しているか。（いずれか1つに○）

これまでの取り組みに

5. 満足している 4. やや満足している 3. どちらとも言えない 2. やや不満である 1. 不満である

※重要度...今後の大館市にとって、施策の取り組みは重要であるか。（いずれか1つに○）

今後の施策の取り組み

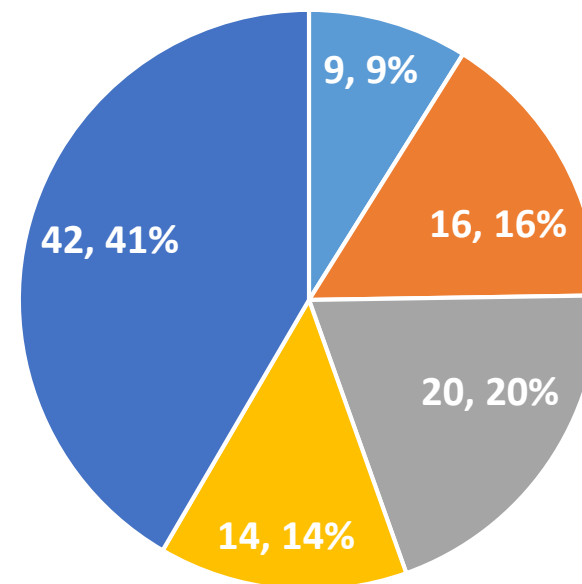
5. 重要である 4. やや重要である 3. どちらとも言えない 2. あまり重要でない 1. 重要ではない

2、計画全体（内容や施策の到達点・目標など）に対する意見

回答者区分毎の送付数、回答数、回答率

回答者区分	送付数	回答数	回答率
森林整備・苗木生産	16	9	56%
木材加工・流通・バイオマス	26	16	62%
建築	46	20	43%
設計	18	14	78%
木育・その他	69	42	61%
合計	175	101	58%

回答者構成グラフ

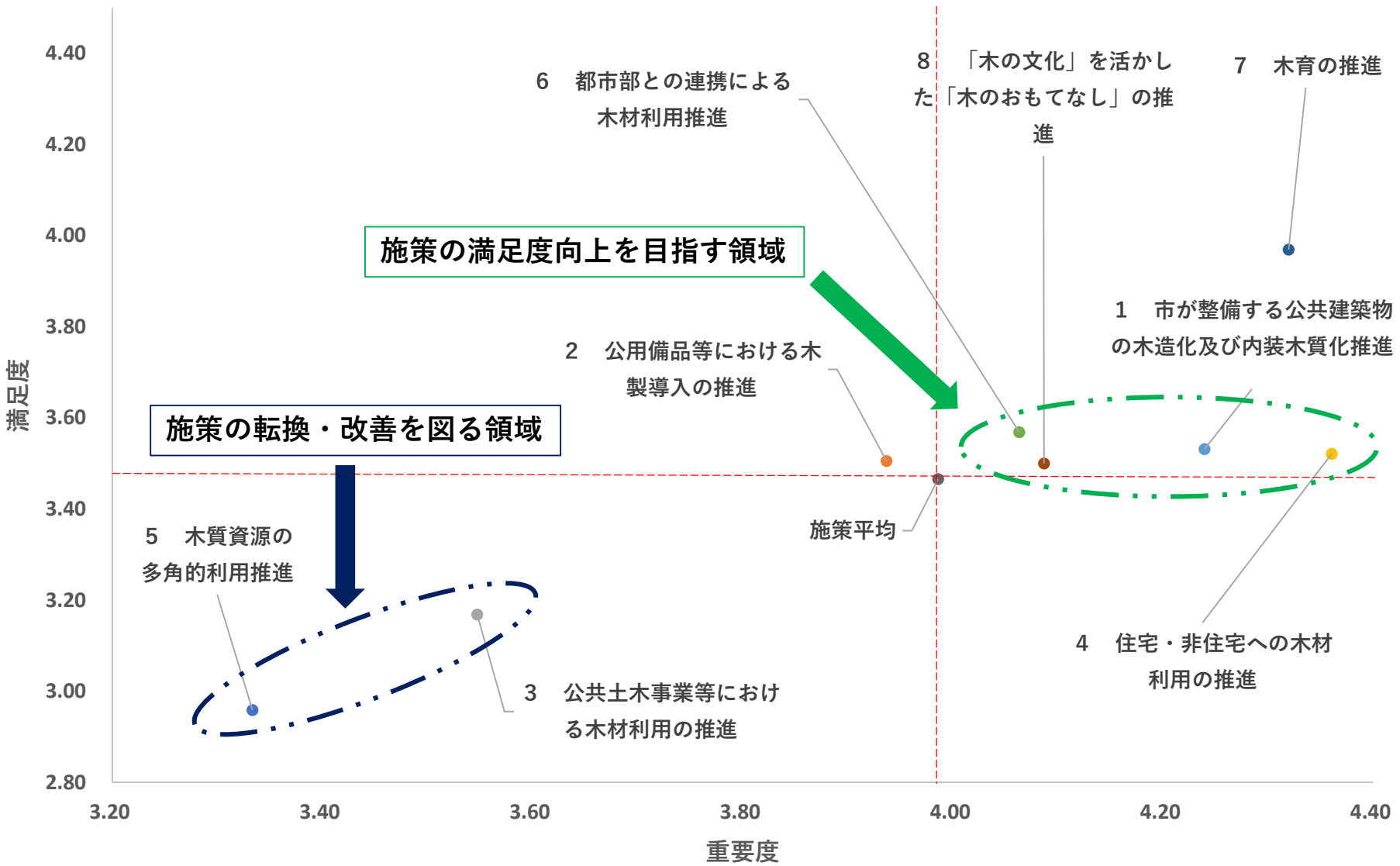


- 森林整備・苗木生産
- 木材加工・流通・バイオマス
- 建築
- 設計
- 木育・その他

満足度・重要度ランキング（全体）

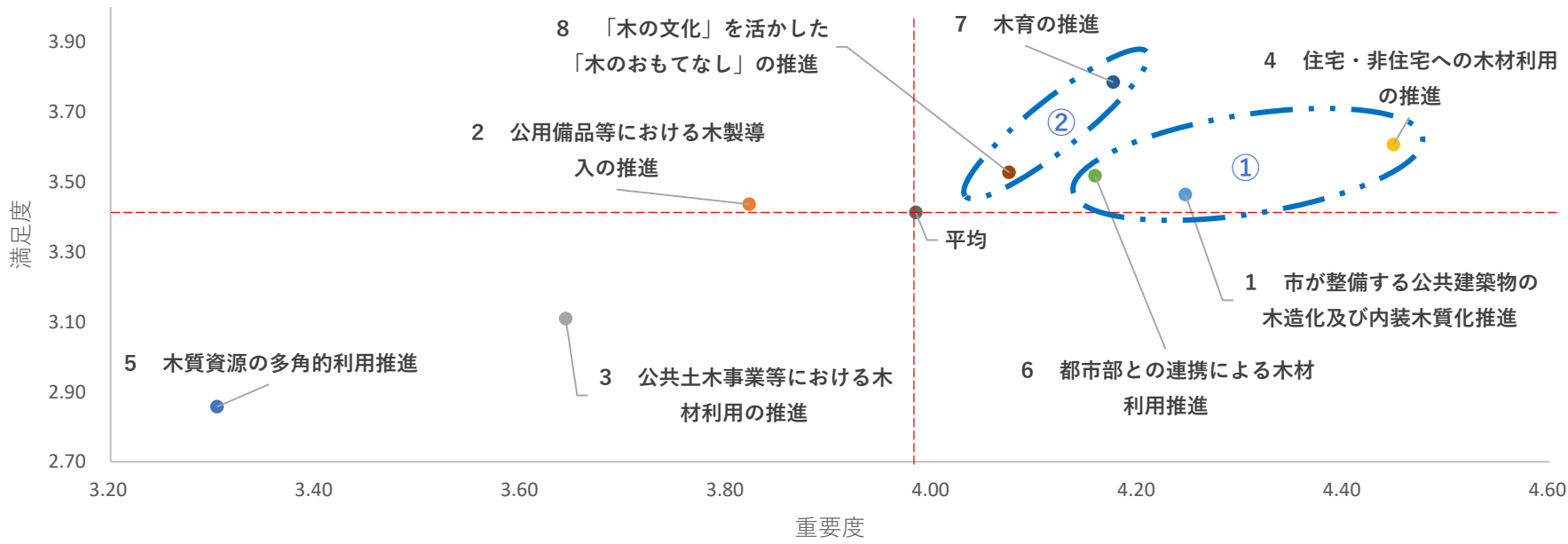
施策項目	満足度	重要度	満足度 順位	重要度 順位
1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進	3.53	4.24	3	3
2 公用備品等における木製導入の推進	3.51	3.94	5	6
3 公共土木事業等における木材利用の推進	3.17	3.55	7	7
4 住宅・非住宅への木材利用の推進	3.52	4.36	4	1
5 木質資源の多角的利用推進	2.96	3.33	8	8
6 都市部との連携による木材利用推進	3.57	4.06	2	5
7 木育の推進	3.97	4.32	1	2
8 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進	3.50	4.09	6	4
施策平均	3.47	3.99	-	-

施策ポジション (全体)



民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）

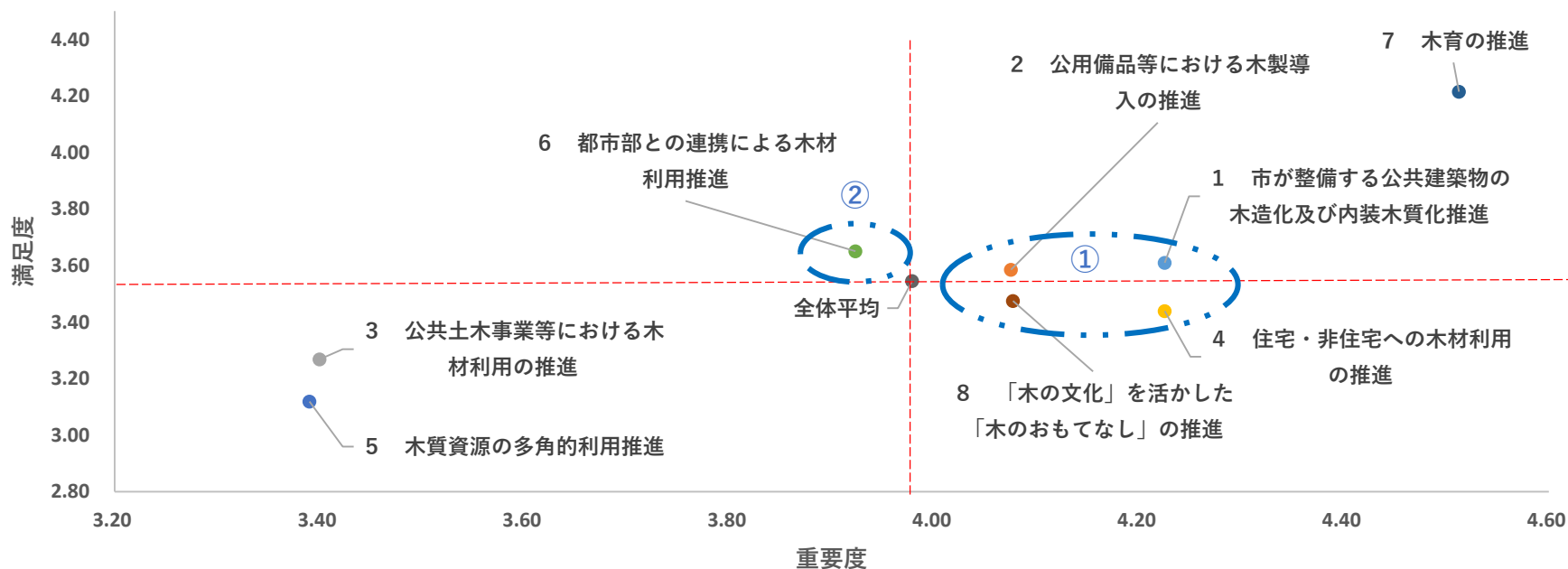
施策項目	満足度	重要度	満足度順位	重要度順位
1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進	3.46	4.25	5	2
2 公用備品等における木製導入の推進	3.44	3.82	6	6
3 公共土木事業等における木材利用の推進	3.11	3.64	7	7
4 住宅・非住宅への木材利用の推進	3.61	4.45	2	1
5 木質資源の多角的利用推進	2.86	3.30	8	8
6 都市部との連携による木材利用推進	3.52	4.16	4	4
7 木育の推進	3.79	4.18	1	3
8 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進	3.53	4.07	3	5
平均	3.41	3.98	-	-



<回答の傾向> ①まとまった量の消費につながる取組みが比較的高位となった。
 ②木材のPRにつながる施策への期待も読み取れる。

一般市民・保育士（木育関係者）

施策項目	満足度	重要度	満足度順位	重要度順位
1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進	3.61	4.23	3	2
2 公用備品等における木製導入の推進	3.59	4.08	4	5
3 公共土木事業等における木材利用の推進	3.27	3.40	7	7
4 住宅・非住宅への木材利用の推進	3.44	4.23	6	2
5 木質資源の多角的利用推進	3.12	3.39	8	8
6 都市部との連携による木材利用推進	3.65	3.92	2	6
7 木育の推進	4.21	4.51	1	1
8 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進	3.48	4.08	5	4
平均	3.55	3.98	-	-



<回答の傾向> ①一般の消費者や利用者向けの取組みに対して不満（施策の恩恵を受けていない）が読み取れる。

②民間事業者に比べ、重要性が認識されていない。

1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進 主な意見・要望

<満足度 3. 51 (3位)、重要度 4. 24 (3位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・温暖化対策の一環として公共施設の木造化、内装木質化を精力的に実施されることを期待したい。【林業】
- ・新市役所では内装等に木（スギ）を多用したようですが、市としてはこれまで建築物に木を使うことに対して意識が低かったように感じます。【設計】
- ・無理した使い方をしてる部分がある（不燃材など）。費用対策効果を考えながら使った方が良い。【設計】
- ・公共施設の木造化・内装木質化については、メンテナンス上、ランニングコストがかかって財政を圧迫するものと思われますが、木造の場合は、メンテナンスによっては長年持続可能と考えます。建築物については小規模化とし、変化に対応できるようになることが望まれる。【設計】
- ・CLTが魅力的。耐火性能、認定されれば活用の幅が広がると考える。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・校舎が老朽化している学校があるので、ぜひ木造で新築していただきたいです。
- ・公共建築物の木造化は調湿効果、断熱効果などの面や衛生面でもメリットがあるので良いと思います。子育て・教育に関する施設の木造化はメリットも多く、インフルエンザの抑制にもつながるそうなので、今優先順位が高い項目なのかなと思います。
- ・公共建築物は市民が実際に目で見て参考にできるので、積極的に木造化・内装木質化に取り組むことには賛成です。デザイン性の高いものを期待しています。

○木材利用に対する意識の低さを指摘する声があるものの、木造・木質化への期待の声が多く寄せられた。
○木造建築物のメンテナンス方法やCLT活用への言及があり、今後、検討・研究すべき内容と思料する。

2 公用備品等における木製導入の推進 主な意見・要望

<満足度 3. 5 3 (5位)、重要度 3. 9 4 (6位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・庁内その他大館市の施設内のプレート・看板の木質化は、市内外への訪問者へのアピールとなる。【林業】
- ・木質に比べ安価な製品が多い。地産をどの位考えるか？【木材】
- ・金額的には大したことでは無いと思います。基準見直しでは、本当に適した物品を、木ではないという理由で排除しないことをお願いします。【設計】
- ・杉については、文字に影響がなければふしのあるものを利用して良いと思う。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・情報公開と共に、小さな木材、廃材利用も取り入れる。木材は高価の意識有。
- ・学校の机なども木製にできないものか？
- ・市職員の名刺等も木材を使用してみてもいかがでしょうか？
- ・保育園内にもクラス名のプレートを使用してほしい。
- ・身近なところからウッドチェンジしていくことは必要だと思います。能代市役所の方々が木製の名刺を使っていて、PRにとっても効果的だと思ったので大館でも取り入れられたらいいなと思います。
- ・市民課の窓口や玄関などを優先的にやってほしいです。市として取り組んでいることが伝わりやすいと思います。
- ・プラスチックフリーになると環境にも良いので、変えられるところは変えた方がいいです。

○木材利用PRとしての効果を認めるものの、“量”としての消費の貢献度は低いことから、重要度は低位となっている。民間事業者と一般者の重要度の回答状況からも意識の差が読み取れる。

○「低質材（節あり）」、「廃材」の活用は一考に値するのではないか。

3 公共土木事業等における木材利用の推進 主な意見・要望 <満足度 3. 17 (7位)、重要度 3. 55 (7位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・入札条件に地産間伐材利用を優先させてはどうか。【林業】
- ・丸棒にする必要があるか疑問。角材の方が単価下がるのでは？加工コスト等。【木材】
- ・県工事はやっているが、最近では看板の軽量小型化が進んでいるので必要ないと思う。【土木】
- ・積雪による劣化が早いので維持保全の予算確保が必要。【設計】
- ・看板より、工事に使える方が良い（量を使うため）。【設計】
- ・目に見えるところでの使用はアピールにもつながり良いと思う。また、まちの中に木を使用しているということが重要だと思う。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・間伐材の利用自体は良いが、費用面でどうメリットがあるか？（耐久性など）木の良さが活かされたデザインがもっとなんか・・・？
- ・工事用看板を木材にする意図は何？設置は大変ではないか？
- ・工事用看板の枠が木である必要性はあるのでしょうか。適材適所を意識しながら展開していくべきだと思います。

○費用面等でのメリットを疑問視する声が多く、また、工事用看板の軽量化が進んでいる点から、工事看板の木製化については費用対効果が低いと言わざるを得ない。

○土木工事での木材利用事例が少ないことから重要度が低位にあるものの、大量消費につながる方策を検討する余地はあるのではないかと。

○「まちの中に木を使用している」はまちづくりの観点から注目すべき点と言えるのではないかと。

4 住宅・非住宅への木材利用の推進 主な意見・要望 <満足度 3. 5 2 (4位)、重要度 4. 3 6 (1位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・集成材を使用した住宅のみならず、家具や内装、小木工業にも需要を拡大すべきだと思う。【木材】
- ・秋田杉集成材の生産拠点の確保が重要。【建築】
- ・木造住宅などに杉柱に対して補助金を出していることはいいと思いますが、工務店や製材所、建材店、プレカット工場への認知度が低いように感じます。梁等まで拡大してアピールしたらと思います。【設計】
- ・民間の家庭内に浸透することが重要と思う。床材にも杉板を利用したいのだが、木材の特徴上なかなか実用化できずにいるため、木材の開発が望まれる。【設計】
- ・条件に該当する加工場をリスト化、確認済証時に案内を配布してほしい。【設計】
- ・接着剤の使用が気になる。【設計】
- ・耐火性能基準をクリアすると使用の幅が広がる。ユニット、組立式、仮設住宅店舗（災害対策）、現在鉄骨造の方が有利である。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・住宅に本当に適しているか？（秋田スギが）
- ・特質（温かみ、やわらかさ）を活かして、無垢の床板や壁材などの内装材として活路を見出したほうがいいと思います。無垢の床板を探しましたが、秋田県産の物は見つかりませんでした。あれば使いたかったです。
- ・床材などに市産木材を使いたいと思うので、個人で買えるようになることがありがたいです。私が知らないだけだったらすみません。

○重要度が最も高い施策と認識されており、期待度が高い。

○市内集成材工場の倒産もあり、建築・設計関係者から現状の苦しさを訴える声が多かった。また、木材利用側（工務店、設計等）の情報収集の不便さを感じる内容が見受けられた。

○消費者側（一般市民・保育士）においても木材に関する情報の遠さを感じる内容が見受けられた。

5 木質資源の多角的利用推進 主な意見・要望

<満足度 2. 96 (8位)、重要度 3. 33 (8位) >

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・消費者目線からみると、ペレットストーブに変えようと思うことが一切ない。周知不足？利点問題か。これよりは公園等のウッドチップ化の方が宣伝にもなって良いかと。【土木】
- ・ペレットのマイナスイメージが広がっている。チップでも薪でもなくペレットでなければいけない理由があるのでは？使う側のことを考えた機器、デザインなど、研究の余地があるのでは。チップや薪もあって良い。【設計】
- ・CO2という点では良いのですが、ランニングコストが高いという事を聞いたことがあります。市庁舎で採用されていない。【設計】
- ・メンテナンス上の問題と、気密上の問題、24時間換気システムとの整合性等、問題が多すぎる。【設計】
- ・ペレットの製造過程を工夫してコストダウンできないか。例 エコシステムの排熱利用など【設計】
- ・何度か利用させていただいてよかったです。今後も継続していただきたいです。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・公共以外の施設・住宅で、どの位使用されているのか不明。
- ・ペレットの推進には放射線への安全性を明確にすることが不可欠。ホワイトペレットを用いているのでしょうか？
- ・個人的には調整がうまくできず、本来の薪ストーブが良いと思っている。コストも安くない。
- ・ペレットストーブを使っている人からは相当手間がかかると聞いている。放射能の問題も解決していないので不安。燃焼効率は良いかもしれないが、結局二酸化炭素を排出することになる。
- ・補助制度は上限金額も高く充実しているように思いますが、少し知名度が低めかなと思います。

- 満足度・重要度共に最下位であり、厳しいコメントの多さからもニーズが低いと言わざるを得ない。
- 木質バイオマス利用について否定的な意見もあり、利用の効果等が正しく理解されていない可能性があるのではないか。
- 利用の不便さも覗かれるため、利用の快適さを追求することで施策評価の改善につながるのではないか。

6 都市部との連携による木材利用推進 主な意見・要望

<満足度 3. 57 (2位)、重要度 4. 06 (5位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・市内に40数社あった製材工場が今は1社になってしまった。（森林組合を別にして）育林を進め、良い材を出す環境づくりが大事だと思う。【木材】
- ・よくやっていると思う。研究の余地はある。【設計】
- ・地産外消の状況を公共施設に展示し、地元が都市部と繋がっている実感を住民に持たせてほしい。【設計】
- ・大断面集成材による高層住宅建設に取り組んでいる会社とつながれるか。加工のしやすさ、地域のストーリーを売る。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・対外的には良いPRになるのだろうが、効果が見えない。（イメージできない）都市部の民間との連携ができたら強そう。
- ・林業成長産業化事業を通して、地元事業者や森林組合がもっと前向きになってくれれば。
- ・都市部の利用率は地方とは比べ物にならないと思うので、効果が大きいと思います。
- ・大館産の杉でなければいけない理由を作ることが大事。吉野杉のように名の知れた名産にしてほしい。ブランディングをしていかないと、この取り組みは継続性が低い。
- ・「渋谷・大館交流の絆」について、「大館体験（木のぬくもり）ツアー」などを企画し、樹海の山々／曲げわっぱ／たる／とんぶり／きりたんぽなど杉＋食を満喫してもらおう。にぎわいの創生につながると思います。

○選手村ビレッジプラザへの木材提供や渋谷区への木材供給等の分かり易い実績があったことから、満足度が高くなったと思われる。

○一方、重要度については、民間事業者が高位になっているのに対して一般者は低位となっており、「地元が都市部と繋がっている実感を住民に持たせてほしい」というコメントからもその意識が読み取れる。

7 木育の推進 主な意見・要望

<満足度 3. 97 (1位)、重要度 4. 32 (2位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・一つ一つの取り組みは小さいものかもしれないが、教育的観点からも将来的に重要だと思われる。【林業】
- ・伝統を絶やさないという観点からも、木に関わる一連の流れを支える仕事を手厚くバックアップして、後継者を育てていく事業を考えるべきだと思う。【木材】
- ・やっとスタートしたという感じです。本当のおもちゃ美術館をつかって、子育て応援の環境が整っている大館市を発信できれば若者の定住、移住、子づくりも増えると思う。【木材】
- ・子供の時から「大館曲げわっぱ」を伝えるのに大変良い事業だと思っています。【木材】
- ・幼児だけではなく、小中学生にも木育をしてほしい。大人にも木育をしてはどうか。【設計】
- ・木育についての必要性や、利点があまりはっきり伝えられていない問題を解決してほしい。【設計】
- ・工務店と連携して建築体験学習の場を増やしてもらいたい。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・木のおもちゃなど高くて手が出ないという人に、木を手取るきっかけがあるのは大きな意味がある。
- ・まだ周知されていないことも多いので、広く市民に周知をお願いします!!
- ・木育インストラクターは増えたが、保育園にはあまり木のおもちゃはなく購入予算もなく...公立保育園全体で木育ひろばの場であったらと思う。丸太切り体験をしてくれた時、子ども達は大喜びだった。
- ・ウッドスタート事業や木育キャラバンなど子ども関連の事業を始めてくれて嬉しい。
- ・小さいお子さんが木のおもちゃに触れる機会が増えてきているように感じて良いと思います。
- ・木育空間整備で木育広場を女性センターに作っていただいたのは大変良かったのですが、冬場は床がとても冷たく残念でなりません。もう少しあたたかい木材を使用する工夫があっても良かったのでは？と思いました。
- ・市内で子どもが遊ぶ場所が少ない。

○取り組みが比較的“見えやすい”施策であり、市民レベルでの活動も活発化されていることから満足度・重要度ともに高位になったものと思われる。

○木育に直接的に関与していない民間事業者の重要度が高位にある点は注目すべきではないか。

○保育士より、木育インストラクターの養成だけでなく、保育園での実践の場・機会を求める声が多い。

8 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進 主な意見・要望

<満足度 3. 50 (6位)、重要度 4. 09 (4位)>

<民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者）>

- ・ドームのそばにある元営林署の参考林の活用と東京おもちゃ美術館との連携をはかれれば、すばらしい移住定住の目玉になると思います。【木材】
- ・もっと県外客に「おもてなし」をしたらどうでしょう。【木材】
- ・林や実物を見るおもしろさ、景色など見せたい。レールバイクは良いと思う。花粉症対策に真剣に取り組んだ方が良い。【設計】
- ・SDGs推進事業カーボンニュートラル、古民家解体材を使うのもおもしろいと思う。燃やさない、再活用、木の第3第4の生き方を提案。【設計】

<一般市民・保育士（木育関係者）>

- ・野遊びSDGSの中身が不明瞭、聞こえはいいが・・・。木のおもてなしはツーリズムとして取り組むのであれば、どのようなニーズがあるのかじっくり考える必要があると思う。
- ・もっと市民に”木の文化”を広げていく方が先では？
- ・私自身曲げわっぱや樺細工が大好きです。自分でも集めていますが、贈っても喜ばれています。おもてなしにはとても良いですね！
- ・曲げわっぱのブームが去る前に確立してほしい。1度来ただけで満足するのではなく、2度3度継続的に大館に足を運びたくなるようなツアーを作り上げる必要がある。それは大館市滞在中にいかに現地の人とたくさん交流する機会をつくれるかにかかっている。
- ・私が秋田県大館市に来た時、秋田スギのことをよくしらなかったもので、イベントやサービスがもっと増えたらいいなと思います。

○既存の取組（特産品、森林、体験など）に対する効果の高さを認識しており、それぞれの組み合わせ方や仕組みづくりを工夫することで事が足りるのではないか。

2、計画全体（内容や施策の到達点・目標など）に対する意見要旨（抜粋）

< 民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者） >

○森林整備関係者

- ・木材（原木）の生産者としての期待の高さが読み取れる。一方で公共施設での確実な地産地消を求める声も。

○木材加工関係者

- ・原材料確保の厳しさを訴える声や現状の森林整備のあり方について改善（育林方法、森林認証取得など）を求める声がある。

○建築関係者

- ・地元産材の利用について賛同する一方で、木材調達の厳しさから現状の打開を求めている。
- ・森林資源のサイクル（植栽～収穫）に関する記述を充実させるべきとの意見も（“使う”に特化している）。

○設計関係者

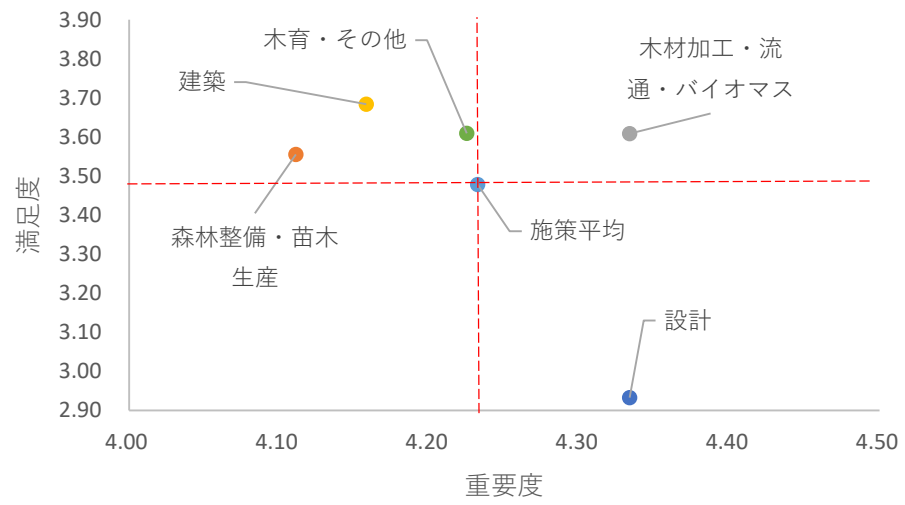
- ・設計関係者との連携に関する提案やサポート側として協力する旨のコメントなど具体の提案が多かった。
- ・木材関係者と建築関係者による意見交換・情報交換の仕組み作りが必要との声あり。

< 一般市民・保育士（木育関係者） >

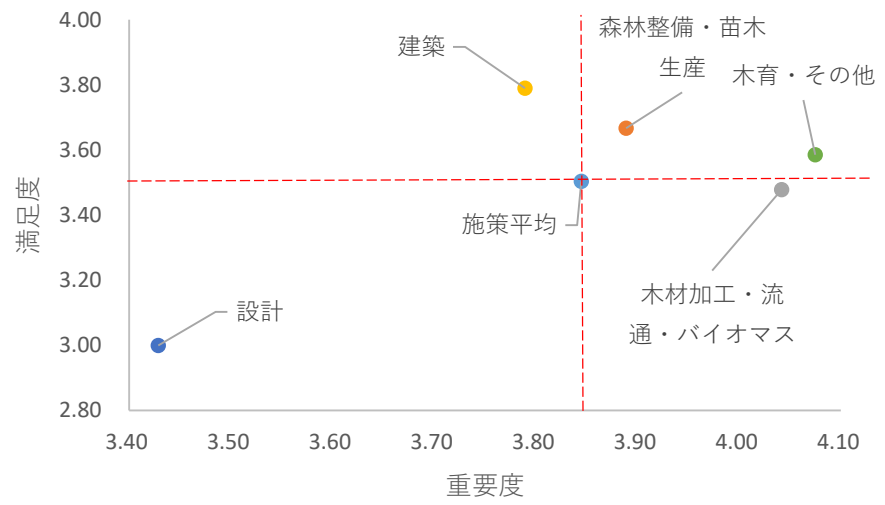
- ・全体的に計画に対する期待度の高さが伺えた。特に木育に関する言及が多い。
- ・計画案を読んで施策を初めて知った、とのコメントがあり、アンケートの問合せ時も同様の言及があった。先に述べた「木材に関する情報の遠さ」にも通じる。

以上

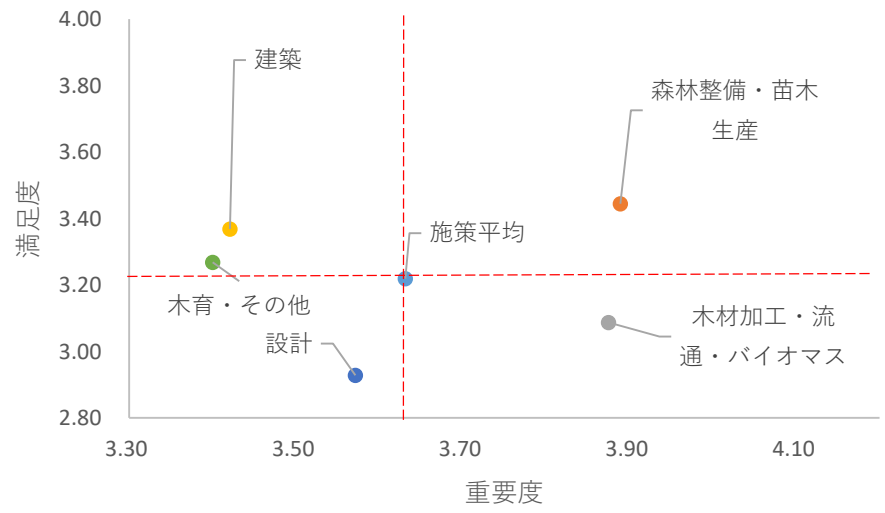
1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進



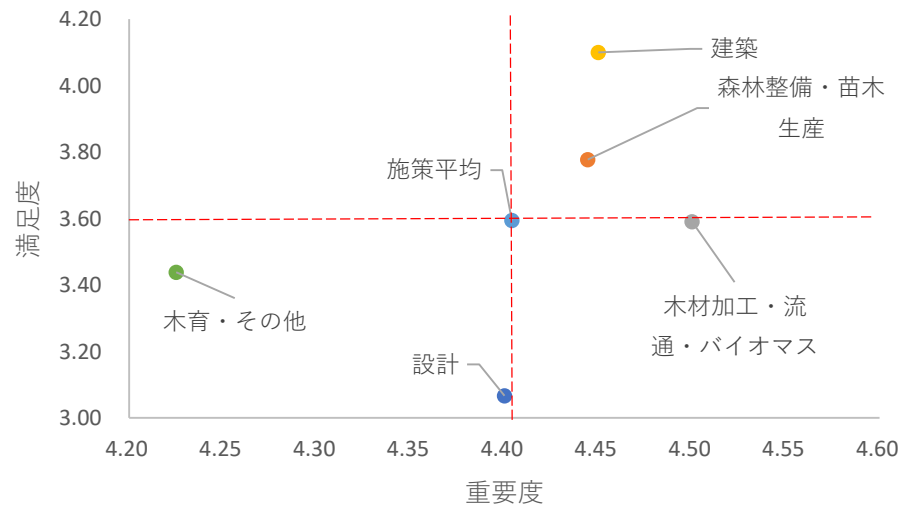
2 公用備品等における木製導入の推進



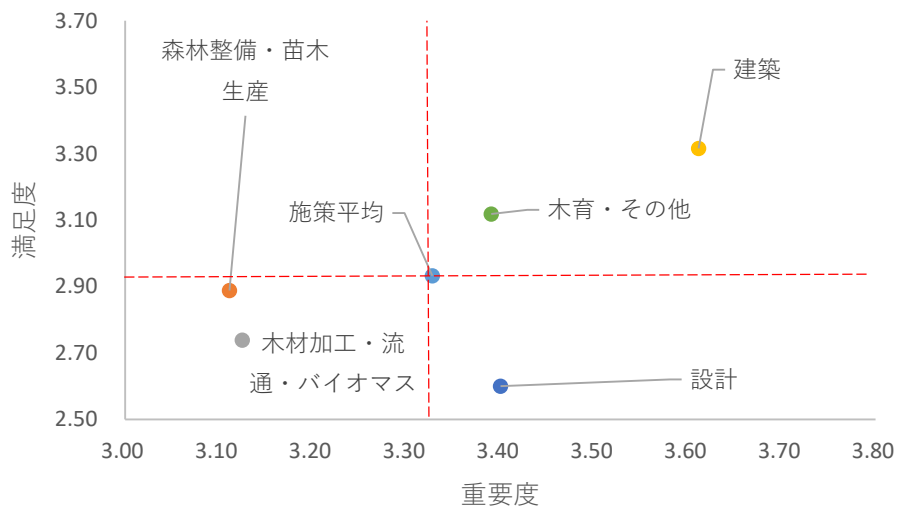
3 公共土木事業等における木材利用の推進



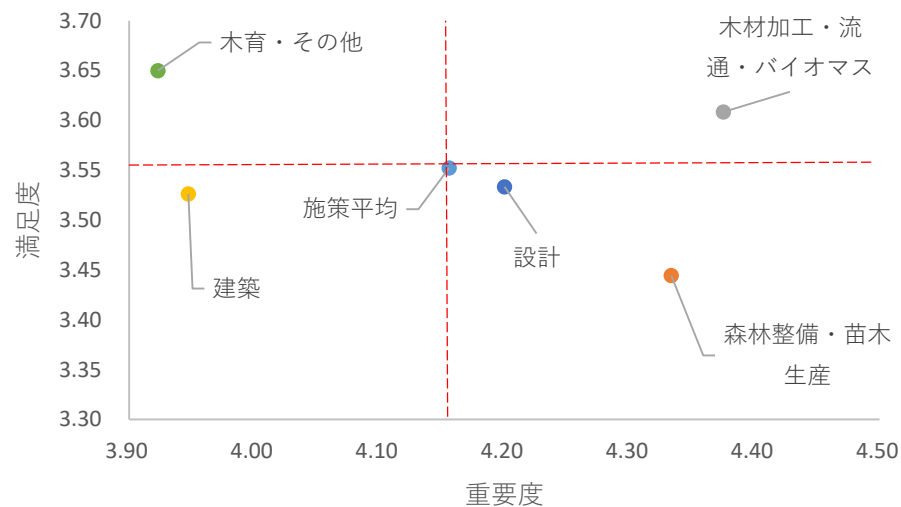
4 住宅・非住宅への木材利用の推進



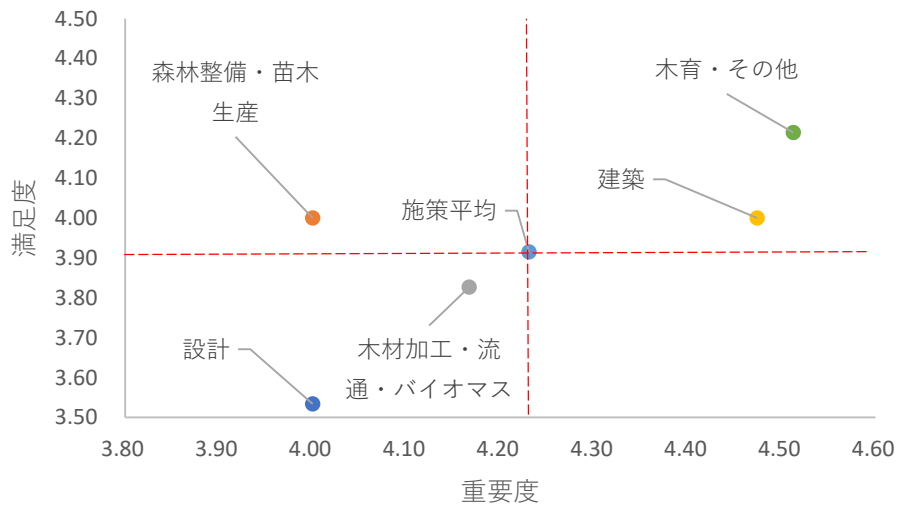
5 木質資源の多角的利用推進



6 都市部との連携による木材利用推進



7 木育の推進



8 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進

